

採用試験 Q&A

Q1 職員採用情報はどこで入手できますか？

A 加古川市ホームページからダウンロードできます！
例年、5 月には加古川市ホームページ上に募集要項（試験案内）を掲載し、同時期に採用説明会も開催します。また職員採用試験や採用説明会などの採用に関する情報を随時お届けする「加古川市職員採用情報メールマガジン」があります。併せて加古川市公式LINEでも採用試験に関する情報を発信する予定です。
みなさんの就職活動に、ぜひお役立てください☆（各媒体についての詳細は裏表紙参照）



職員採用情報
メールマガジンはこちら

Q2 年によって募集がない職種はありますか？

A 年によって募集職種が異なります。例年、3 月に募集予定職種や試験スケジュールを発表しますので、加古川市ホームページをご確認ください。なお、募集予定職種は変更になる場合がありますので、必ず募集要項をご確認ください。

Q3 加古川市の採用試験の特徴は？

A 加古川市の採用試験は、人物重視としており 1 次試験から面接を実施しています。（一部の職種を除きます。）
具体的には、採用前の知識・経験等から培われた潜在力に着目し、採用後の伸びしろがある人物として以下の 3 つを「求める人物像」として定めています。
①常に学び続ける**向上心**を持った人物 ②多様な価値観を認める**寛容さ**を持った人物 ③**謙虚な姿勢**を持った人物
また、全職種で専門試験を廃止しており、公務員試験対策が不要です。適性検査は実施しますが、テストセンター方式なので全国各地で受験が可能です。過去の試験の申込状況・倍率等については、加古川市ホームページをご確認ください。

Q4 行きたい部署を希望することはできますか？ また異動の周期はどれくらいですか？

A 内定後に「調査書」で希望の部署を伝えることができます。また入庁後は、3～5 年を目途に異動がありますが、年に 1 回行きたい部署やチャレンジしたい仕事を申告できる制度があります。希望通りの配属にならない場合もありますが、どの部署に配属されても新しい発見や、やりがいを見つけることができます！

Q5 採用後、**努力や成果**は処遇に反映されますか？

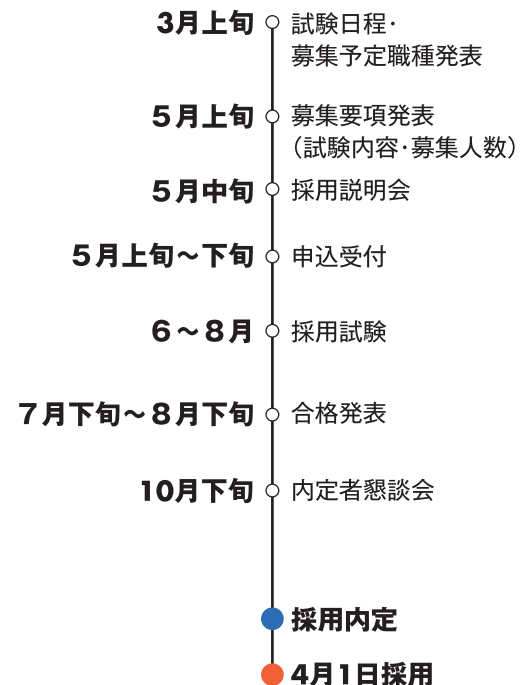
A 年 2 回、半年ごとに自らの業務達成度等を振り返り、上司との面談を通して評価する機会を設けています。評価結果は、6 月と 12 月の賞与（ボーナス）に反映されますよ。

Q6 加古川市職員になるために**やっておいた方がよいこと**、**取得している方がよい資格**などはありますか？

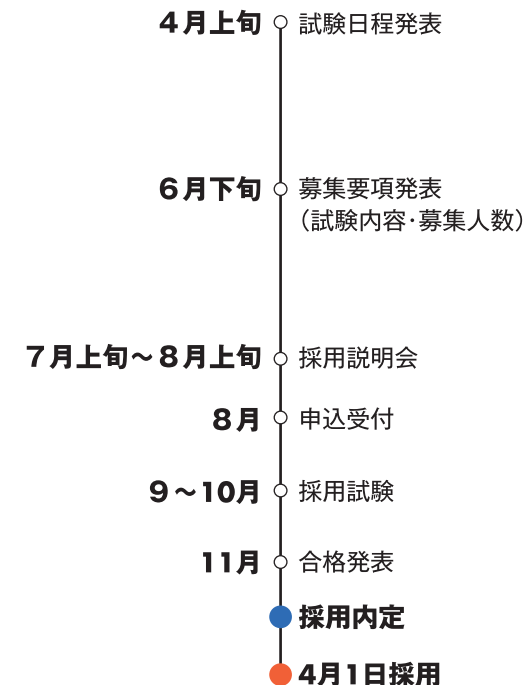
A 加古川市の地名や名所を知っていると、業務が円滑に進むことがありました。
資格免許については、採用試験の受験資格となっている場合を除き、合否に影響はありません。ただし、採用試験の申込時に取得している資格免許を入力する項目がありますので、採用後、資格を活かせる部署に配属されるかも！チャンスをつかむためにも勉強の幅を広げてみてください♪

採用までの流れ

事務職・技術職・幼児教育士・保健師など



消防職



※実施年度により異なりますので詳細はホームページで確認してください。

人材育成・研修制度

1年目

新規採用職員研修①

職場へ速やかに適応できるよう、市職員としての心構えと基礎的知識を学ぶ。

新規採用職員研修②

入庁半年を振り返り、自らの課題を再認識し、さらなるレベルアップを目指す。
（仕事の進め方フォロー、ビジネスマナー等のプログラム）

地方公務員制度研修

地方公務員法の知識を習得する。

ステップアップ研修

自立した2年目職員としてステップアップするため、仕事の本质ややりがいを見つめ直す。
論理的思考力、プレゼンテーション能力の向上を目指す。

3年目

一般研修①

組織コミュニケーション力の向上等により、自身の業務遂行に必要な基礎的知識を習得する。

地方自治制度研修

地方自治法の知識を習得する。

課題発見・解決研修①

データやICTを活用した業務改善の観点から、解決策を導き出す過程を通して、政策形成の基礎となる企画力、創造力の向上を図る。

法務執務研修

条例制定・改正の際に求められる法令用語、用法などの基礎知識を習得する。

一般研修②

自身のキャリアを具体的にイメージすることで業務への意欲を高める。

課題発見・解決研修②

問題発見・解決に必要な知識・理論・方法や、組織を巻き込むコミュニケーション手法を習得する。

行政法基礎研修

行政法の基本理論および法的な考え方を習得する。

4～5年目

6年目



過去の採用試験の
実施状況はこちら